

あやめ池通信

～やさしい笑顔があふれ、一人一人が輝く学校～

第 60 号

令和元年 7月 5日

奈良市立あやめ池小学校

文責 西浦克博

1学期を振り返るための大切な時間！

梅雨入りしてから一週間あまり過ぎましたが、梅雨空の合間をぬってプールからは子どもたちの元気な声が聞こえてきます。先月の学習参観・懇談会には、たくさんの保護者の皆さまにご出席いただき、誠にありがとうございました。学級担任と保護者の皆さまで熱心にお話し合いをしていただいている場面に多く出会えて、とてもうれしく思いました。8日からは個人懇談が始まります。



保護者の皆さんと学級担任とで、子どもたちの成長やがんばりを共に喜び合えるような懇談会になればと思っております。どうぞよろしくお願ひします。また、個人懇談会の期間は、校長室にて保護者の皆さまのご意見を聞かせていただく時間を設けておりますので、よろしければお立ち寄りいただけたらと思ひます。（※8日は出張のため時間を設けられません）

さて、学期末の数週間は、4月に立てた『今年度のめあてや目標、そして誓ひ』に改めて向き合う時間でもあります。それは、子どもたちだけでなく私たち職員も同じです。これまで、目標を達成するためにどんな努力をしどんな工夫をしがんばってきたか、そしてどんなことができるようになってきたかなどを、自分自身でしっかり『振り返り』をすることを大切にさせたいと考えています。そして、夏休みや2学期での新たな目標作りや努力点を見つけられるように指導していきたいと思ひます。ぜひご家庭でも、1学期の残りの時間を大切にいただき、成長してきたことや引き続きがんばっていくことをお話ししていただけたらと思ひます。よろしくお願ひします。



みんなの願いを折り鶴にこめて・・・

6年生は、6月18日から19日にかけて広島方面へ修学旅行に出かけました。有意義で楽しい修学旅行にするために「①平和について学び、戦争のおそろしさを知ろう。②広島の世界遺産を知ろう。③ルールやマナーを守り協力し合って楽しく学習しよう。」というめあてを決め、準備や事前学習を積んできました。

広島平和記念公園では、フィールドワークをしたり、資料館を見学したりして平和の大切さ、命の尊さについて学びました。特に、同じ年頃で命をうばわれた少女の「原爆の子の像」前では、平和への祈りをこめて全校児童が折った千羽鶴を捧げ、黙祷や『折り鶴』を歌うなどして、平和セレモニーに取り組みました。

また、子どもたちが楽しみにしていたホテルでの一泊の体験も含めて学校生活の思い出として心に残してくれたものと思います。旅行中の駅や車内での行動、ホテルでのマナーなどまわりの人たちに迷惑をかけない立派な集団行動もできました。二日間の修学旅行を通して、なかまづくりと平和・歴史・他の地域の風土、そして自然などについて興味・関心を発展させてくれたこと、そして、『強く、正しく、ほがらかなあやめっ子』目指してがんばってくれたことをうれしく思っています。

※修学旅行ライブ配信に、多数のアクセスをいただきありがとうございました。

◇「原爆の威力は本当にすごい」平和資料館に入った瞬間にそう思っていました。なぜなら、ぼくの目に留まったのは廃きょと化した広島でした。人がたくさんいたはずなのに、人影が全く見えない。そのような資料を見たからです。そして、原爆の被害にあった人々の様子は、亡くなった人は体の色が変色していたり、かろうじて助かった人も全身にやけどを負い、性別すらわからない状態でした。広島平和記念公園でのフィールドワークと資料館見学で、原子爆弾のおそろしさを学んだだけでなく、戦争を二度としてはいけないことを改めて学びました。

◇キャベツのおっちゃんは、とてもノリが良く優しい人でした。鉄板でひっくり返した時、「おー、パチパチパチ。」と歓声が上がリ、拍手をしていました。のどがかわいていたので水のおかわりをお願いすると、「はい、どうぞ。水、欲しいときは言ってな。」と笑顔で言ってくれました。広島焼きができあがったとき、「見た目からして絶対においしいやん、しかもおっちゃん焼くのうますぎるやん」と思いました。さっそく食べてみると、フワフワしていて初めて食べた広島焼きがおっちゃんので良かったと感じました。おこのみ焼きがきれいな私でも食べられて、あっという間に一枚がなくなっていてびっくりしました。もう一枚食べたいと思うほどおいしかったです。

